

# ご利用者にも職員にも 優しい環境を

～事故検証から考えた業務改善～

1



社会福祉法人 賛育会  
**相良清風園**



- 開設 2001年7月1日 創立24周年
- 特別養護老人ホーム 50名 短期入所生活介護 20名
- 通所介護 認知症対応型通所介護 訪問介護 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター
- 職員数：正職員37名 非常勤職員56名（6月末現在）



社会福祉法人  
**賛育会**



- 設立 1918年 創立107年 法人本部 東京都墨田区
- 医療 病院 診療所 ・保育 保育園
- 介護 特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護医療院ケアハウス・グループホーム
- ほかに在宅サービスを東京・長野・静岡で展開。御前崎市に東海清風園
- 職員数：正職員696名 非常勤職員996名（2025年4月1日現在）

2

## 事故例：ご利用者が入浴中のストレッチャーから転落

職員A：シャワーを準備して目を離していた  
職員B：洗身中にご利用者の手がBのマスクを取ろうとしたため、顔をよけた

ご利用者：伸ばした手の勢いそのまま身体が反転

職員A：頭部を守るため足を入れる  
職員B：身体を支えるが泡で滑る

ご利用者：両膝から左側を下に滑落

### 左右大腿骨 骨折



3

## 事故検証で出た問題点

- 1

**入浴手順**

法人の手順は守られていたが、施設の入浴マニュアルは2016年以降更新されておらず。
- 2

**ヒヤリハット**

日常的に危険な行為はあったが、ヒヤリハットには上がらず。危ないと認識はしており、個々に気を付けて介助に入っていた。
- 3

**入浴環境**

既存の入浴用クッションは、使い勝手が悪く活用頻度が少ない状態。職員不足のため、落ち着いて入浴介助に専念できる状態ではなかった。

4

## ヒヤリハットメモを変えよう！




- ・記録ソフトと紙ベースの併用
- ・部署会議を開き、職員全員で書式を決定
- ・事故が起こりやすい、食堂と浴室にヒヤリハットメモを置く
- ・原因や対応策を書く欄は省略、非常勤職員も積極的に記載できる環境に、何にヒヤリとしたかを記入することを目的とした

5

## ヒヤリハットメモを変えてどうだった？



2023年度 234件 → 2024年度 291件 報告件数増加

経験や個人の体格などによる対応力の違いや、「私は怖いけど、他の人は大丈夫っていうから・・・」などの隠れた気持ちが吐き出しやすくなった。

ヒヤリを共有したら、経験年数のある職員から、違う対応方法や技術を教えてもらう機会になった。

「一人じゃ難しいから助けて。」と言いやすくなった。

いままで見逃していたヒヤリを拾うことで、アクシデントにつながる前に対応策を考え予防できるようになった。

6

## クッションを購入しよう！

台形タイプは広げて首の安定に、二つ折りで脇の下に挟んだり。



脇やひざの裏、背中やひざの間など 大小組み合わせて浴槽内での体位の安定に。



丸めて差し込んで姿勢の安定に。



背中に敷いても。



**誰でも安定した姿勢で安全な入浴介助が行えるように！**

7

## 身体を石鹸で洗わないという選択！

皮膚科医師より、「高齢者の皮膚は石鹸で洗わない。」との研修を受ける

ウルトラファインバブルの機器導入検討

洗身時間を短縮、ゆっくり浴槽に浸かることができる

職員の入浴業務の負担軽減につながるのでは！

8

## ピュアット導入



## 事業所交換研修に参加

参加者：正職員と入浴介助を行う非常勤職員で参加

ヒアリング内容：

- ・入浴介助に1人30分→20分の短縮
- ・浴槽に浸かる時間が伸びてご利用者の満足度に繋がった
- ・石鹸やタオルなどの経費削減
- ・皮膚トラブルの発生なし



9

10

## 導入に向けて



11

## みんなの声

### Q1 導入前後で介護負担は減った？

#### はい

- ・介助量減少による職員の負担軽減
- ・体を搔いてしまう方等の難易度の高い方の複数人対応が不要に
- ・洗身介助が2人→1人へ削減
- ・4人で行っていた入浴業務は3人で対応できるようになった

#### いいえ

- ・早番が時間内に終われない
- ・入浴介助に入る回数が減り、導入後のやり方にまだ慣れず逆に時間がかかっている

12

## みんなの声

## Q2 石鹸で洗わないけれど皮膚状態は悪くなった？

## はい

- ・全員ではないが皮膚の皮が飛ぶ様子が減ったと感じる。
- ・ひどく悪化している人もいないので、悪くはなっていないと思う。
- ・入浴中手足を擦っているが使い始めの頃より出てくる汚れが減っている。
- ・足の指の間はきれいになっている。

## いいえ

- ・よくわからない

13

## みんなの声

## Q3 他に改善したいこと・困っていることは？

- ・早番が1人の日は入浴介助に関わる人数が少ない為、大変な事が多い。可能であれば改善してほしい。
- ・入浴時間5分を守るためにも洗身介助する職員は13時から始められようになりたい。
- ・外介助の移乗補助のため、フロア職員はインカムを持ってほしい。
- ・外介助の移乗は入浴にかかる職員で実施してほしい。おやつ介助が滞ることがある。
- ・洗身介助の負担は減ったが、着脱介助はとても疲れる。
- ・着脱介助の人がスムーズに動かないと終われない。



14

## 働きやすい環境はご利用者にとっても良い環境

1

職員が安定して働ける環境は、ご利用者も安定したサービスを受けることができる環境

2

現場の声から問題を洗い出し、改善策の検討を続ける

3

負担軽減のために、福祉機器の活用で補えることはないか

4

必要なICT機器の検討、導入を進めていきたい

ご利用者にとって安全で安心して暮らせる環境を整え続けていきたい

15

ご清聴ありがとうございました

16